

国際教養大学(学部入学定員:175人)

グローバル・リーダー人材育成のための教育力と学修支援強化

【構想の目的・育成するグローバル人材像】

教育力強化と学修支援強化により本学における「国際教養」教育の水準を高め、新たな取組を導入して、多様な知的経験と国際教養に支えられた決断力と実践力を備えた有能なグローバル・リーダーを育成します。

【構想の概要】

教育力強化:海外の大学との交換講義の充実、英語論文のためのリサーチ・執筆指導の徹底

学修支援強化:国内外の大学院への進学指導の充実、アカデミック・ライティングを含む学修支援の強化

「国際教養教育」を国内外へ発信。東アジアにおける国際高等教育交流のハブとなることを目指します。

■ 教育課程の国際通用性の向上

○ 教育課程の国際通用性の向上のための取組

(1) 英語による授業やシラバスの公表、国際科目コードの採用など体系的カリキュラムを確立

(2) 海外大学との単位互換の整備と交換講義の充実を通じた国際通用性のさらなる向上

(2) GPAによる成績評価に加え、電子ポートフォリオなどの学習達成度評価の導入

○ 戦略的な国内外への教育情報の発信

(1) 国際教養教育推進センターを設置しグローバル人材教育に関する情報を発信

(2) 教員の海外交換交流による人的ネットワークの強化と本学の国際的評価の向上

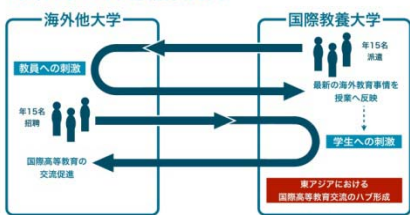
○ 事務体制のグローバル化

(1) 海外進学支援担当専門職員の国際公募など、事務職員の国際性強化

(2) 海外大学との職員交流、諸大学の運営研究と、事務のグローバル化促進

■ グローバル・リーダー人材として求められる能力の育成

海外大学との交換講義充実

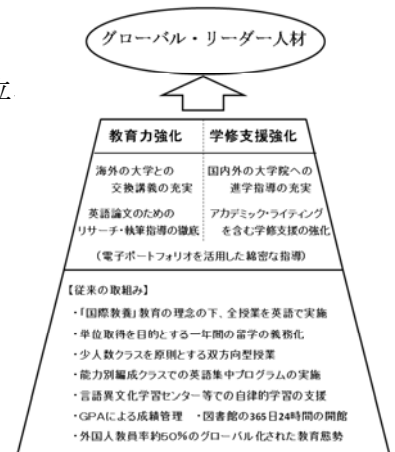


海外大学との交換講義の充実

海外大学からの招聘教員による、多様で専門性の幅を深める講義を提供します。また、本学教員の海外講義経験や交流により、教育力向上を図ることで、最新海外事情を反映した発展的な授業を提供し、学生に新たな視点や知的刺激を与えます。

セミナー論文指導の充実

グローバル・ビジネスとグローバル・スタディズの専門課程において、テーマ研究と論文の執筆を課す、卒業要件の「総合セミナー」の質を向上させるため、指導教員を採用し、多様なテーマに対応した研究方法の選択をはじめ、数量的分析力、データ処理能力を育成する指導を徹底します。



能動的学修支援とアカデミック・キャリア支援

能動的学修支援センターを設置し、訓練されたティーチング・アシスタントなどによる英語論文指導をはじめ、時事英語、ディベートなどの学習機会を提供します。また、内外の大学院への進学を支援する取組を展開します。

■ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

○ 効果的な語学教育及び教育体制

入試では、一定の英語力要件を課す特別選抜入試の導入や英語論文筆記試験により、英語力の適切な評価を行っています。入学後は、卓越した外国語運用能力を養成するため、全授業を英語で実施、必修の英語集中プログラムと英語科目による学術英語能力の育成、TOEFL-ITPによる段階別の達成度の確認、少人数教育によるディスカッションやプレゼンテーションを通じた発信力の訓練など一貫した語学教育を提供し、さらに1年間の留学を義務付けています。

○ 高度な次元での英語運用能力の養成

本事業では、英語研究論文執筆指導の強化、能動的学修支援センターでの個別指導体制の充実、交渉力・演劇・模擬国際会議などの科目を開講するなど、従来の英語教育を一段と発展させ、卒業時TOEFL-ITP600点相当の英語能力を全体の75%が達成できることを目指します。

■ 教員のグローバル教育力の向上

○ 教育体制のグローバル化

学会におけるリクルートや海外提携大学との教員募集に関する情報の交換も試みるなど、国際公募を展開し、国際的に高い水準の教育力を備えた教員を採用します。

○ グローバル教育力向上のための取組

これまでの人的ネットワークを生かし、海外大学との交換集中講義を増加し、世界に通用する教育力を実践的に獲得する機会を作ります。内外の教員の教育交流を活発化させ、東アジアにある国際高等教育交流のハブを形成し、さらなるグローバル教育の発展を目指します。

■ 日本人学生の留学を促進するための環境整備

○ 1年間の留学を必修化とサポート体制

世界38カ国・地域の134の提携大学との交換留学を必修化し、留学先情報の発信、大学選択と単位認定における丁寧なアカデミック・アドバイジング、留学セミナーによる準備指導、生活面・就職活動面のサポートなど、体系的な留学支援を提供しています。本事業では、単位互換実績のデータベースを構築し、電子ポートフォリオを利用して学習成果を分析することで、カリキュラム全体の中での留学の位置づけを見直す材料とし、今後の留学指導の改善につなげます。

卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力

本事業では、「国際教養」を修得することで達成する5つの教育目標において次のような能力を掲げています。
 『① 外国語コミュニケーション能力の熟達』については、卒業時にTOEFL-ITP600相当の英語力を身につけている学生が全体の75%に達していることを目指します。また、次の4領域『②様々な学問分野にまたがる広範な基礎知識の統合、③知的自律性と意思決定能力、④自己の文化的アイデンティティへの認識と異文化への理解、⑤グローバル化に対する理解』については、基盤教育課程で得た多様な学問分野の基礎的知識を各専門教育課程での学修を通して発展させ、学内および留学先等での異文化体験を通して自他の文化についての理解力を向上し、学修の集大成として卒業前に必修であるセミナーにおいて、研究テーマの選定、調査・分析、結果の検討、結論を自立的に進め、英語で論文を執筆できる能力を修得します。

本構想において実現する達成目標

| 全学 | | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | |
|-------------------|----------------|------------------|------|--------|--------|--------|---------|------|
| 外国語カスタンダードを満たす学生数 | | | | 71人 | 76人 | 96人 | 144人 | |
| うち海外留学未経験者数(A) | | | | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | |
| 海外留学経験者数(B) | | 123人 | 177人 | 192人 | 192人 | 192人 | 192人 | |
| 卒業[予定]者数(C) | | 123人 | 177人 | 192人 | 192人 | 192人 | 192人 | |
| 比率((A+B)/C) | | | | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | |
| 全学 | 卒業時の外国語カスタンダード | TOEFL ITP 600 相当 | | 71人(0) | 76人(0) | 96人(0) | 144人(0) | |
| | 海外留学経験者数 | 123人 | 177人 | 192人 | 192人 | 192人 | 192人 | |
| | 3カ月未満 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | |
| | | 3カ月～1年 | 123人 | 177人 | 192人 | 192人 | 192人 | 192人 |
| | | 1年超 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 |
| | 卒業[予定]者数 | 123人 | 177人 | 192人 | 192人 | 192人 | 192人 | |

※1)「外国語カスタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の()内は、外国語カスタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。

※2)上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。